

# ボナンタゴン

アピカホールから  
あなたに

Vol.77

2015.7月-9月



ピアニスト  
生田 敦子さん

ふるさとゆかりの演奏家

生田敦子

ピアノコンサート

八月二日開催

■寄稿 生田敦子

明日の  
アピカホールを  
目指して

うかわ先生の  
おんがく談義

音楽の話輪・和Wa  
生きる糧を与えてくれる

西脇市立音楽ホール

**Apika**  
アピカホール

8月2日(日) ふるさとゆかりの演奏家

## 生田敦子 ピアノコンサート

ピアニスト 生田 敦子

ブルクミュラー、湯山 昭の作品、  
ピアノコンクール課題曲から、  
ベートーヴェン、ショパンの名曲まで

西脇市は日本のヘソの街として知られていますが、私の心にとっても「ヘソ」となる場所です。私が生まれたのはアメリカのボストン、育ちは横浜、音楽家修業はスイス・・・と、次々と拠点の大移動を繰り返してきましたが、本籍地である西脇という場所は、その点でバラバラに飛んで回る生活を束ねて繋ぎ留めてくれる拠点として、いつも私の中で欠くことの出来ない大切な場所でした。

そして、そんな私の故郷に、アピカホールという素晴らしいホールが存在しているということは、ピアニストとして、音楽家として本当に嬉しく誇らしいことです。

温かみのある豊かな音響と最高の楽器を備えていながら、座席数は180席。決して大きなホールではありませんが、演奏家とお客様を親しく結び付け、音楽を通じて一つになるのに、実は最適な規模ではないかなと思っています。親しみやすい規模でありながら、ここまで質の高い設備・環境・・・というホール、国内外を通じて、実はなかなか見つけるのが難しいです。こんな素敵な場所が私の故郷にあって、そこで演奏する機会を頂けるといことは、ピアニストとして、本当に幸せなことで感謝の気持ちでいっぱいです。

今回、2015年8月2日(日)のリサイタルでは、ピアノソロの人気演目・名曲を中心に、今ピアノを習って頑張っている練習生がリアルタイムで取り組んでいるようなレパートリー、例えばブルクミュラーの練習曲や、邦人作曲家の湯山昭さんの作品「お菓子の世界」から何曲か・・・といったものを取り混

ぜたプログラムをお届けしようと思って準備をしています。子供の頃に大好きで弾いていた曲を、職業演奏家としてそれなりのキャリアを積ませて頂いた今になって改めて勉強してみると、しみじみ素敵な曲だったんだなあ・・・と新鮮な感動があります。「あ、この曲知ってる!」「あ、この曲弾いたことある!」という曲が出てきたら、一緒に演奏している気持ちになって楽しんで頂けたら嬉しいです。

実はこのリサイタルプログラムのアイデア、アピカホール企画スタッフの方からヒントやアドバイスを頂いて、色々相談して考えました。一人でも多くの地域の皆様に音楽に親しみを持って楽しんで頂くにはどうしたらいいか・・・。常にそんな視点でホールの運営・発展に取り組み、音楽への深い愛情と理解を持ってアイデアに工夫を凝らした企画を打ち出すスタッフの方々の存在は本当に貴重で、地域にとっての大ラッキーだと思います。

ホールとスタッフと演奏家、そして聴きにいらして下さる地域の皆様とで手を携えながら、西脇を音楽でいっぱいにするように、私もお仲間に入れて頂いて頑張りたいと思っています。お誘いあわせの上、一人でも多くの方に会場に足をお運び頂ければ幸いです。私も皆様にお目にかかれましてを楽しみに、準備に励みます。それでは、コンサート当日、御一緒に音楽を楽しみましょう!



ボストン生まれ。5歳よりピアノを始める。森葉子、江崎光代、北島公彦の各氏に師事。PTNAピアノコンペティションE級、F級各金賞、デュオ部門上級最優秀賞、シニア部門第1位。早稲田大学卒業後、リーター財団奨学金を受け、スイス、チューリッヒ芸術大学留学。コンスタンティン・シェルバコフ氏に師事。引き続きフォントーベル財団奨学金を得てジュネーヴ音楽院にて演奏家修士課程修了、合わせてピアノデュオ課程修了。その他、各種講習会等にて、アレキサンダー・イェンナー、パウル・バドゥラ・スコダ、ミハイル・ヴォスクレセンスキー、バスカル・ロジェ他各氏の下で研鑽を積む。2000年ABC新人オーディション合格。新人コンサート出演。2005年IBLA国際コンクール(伊)ピアノデュオ部門第2位及びラフマニノフ特別賞受賞。2011年チマローザ国際ピアノコンクール(伊)第3位及びチマローザ賞受賞。これまでに神奈川フィルハーモニー管弦楽団、イェーナ交響楽団(独)、ルーマニア国立ジョルジュエネスコ交響楽団と共演の他、ソリストとしてヨーロッパ各地の音楽祭やコンサートシリーズに出演。また、室内楽においてもN響、東フィル、ルツェルン祝祭管弦楽団、チューリッヒ室内管弦楽団、バーゼル交響楽団、キール市交響楽団等のソロ奏者らと数多く共演している。

# 明日のアピカホールを目指して

アピカホールに三枚の絵はがきがあります。開館5周年に「ボナンタゴン」の生みの親、初代編集委員長の上角和夫さんが描かれた音楽ホールのスケッチです。今も色あせず素晴らしい「アピカホール」が描かれています。きっと開館誕生までとそれ以後も、多くの課題や困難を乗り越え関わってくださった方々の夢と希望がこの絵はがきに込められているのでしょう。

平成8年7月23日、西脇市民の豊かな個性や創造性を培い、文化力の向上を目指す英知と情熱がアピカホールの創立となったのです。

以来19年の月日が経ちました。その間、しばざくらコンサート実行委員会はじめ事業ごとの実行委員会の方々、ホールに足をお運びくださったすべての皆様、そして数多くの演奏者や指導者からホールの発展に献身的な協力を賜ってきました。まさにアピカホールのキャッチフレーズ「聴く人と奏でる人が共につくり上げるホール」そのものです。

また、ホールの役割の一つに次代を担う人材育成があります。23回を数える「アピカ・フレッシュコンサート」、19回目を迎える「リトルピアニストの大きなコンサート」、幼稚園のお出かけコンサートはじめ4年目を迎えたアピカ弦楽アンサンブル教室とアピカ児童合唱団、混声Coroアピカ、あまたの子ども達と大人がすてきなアピカホールの舞台に立ちました。子ども達の心の中に夢多かりし幼き日の思い出のアルバムとして燃え続けていることを思うとき、ほのぼのとした安らぎをおぼえます。

開館20周年を目前にした今、皆様に良質の音楽をご提供させて頂くと共に幅広いジャンルを取り入れたいとの思いもあります。

ちょっとおしゃれなアピカホールと普段着のホール、子ども達からお年寄りまでが気軽に足を運べるアピカホール、これこそが目指す地域の生活の中にあるホールと言えましょう。

アピカは「まっすぐな」意味、ホール情報誌の名前“ボナンタゴン”は「こんにちは」を表しています。その意味する実直さと親しみやすさをこれからも大切にしていきたいと思えます。そしてご支援頂いている皆様方の熱い思いを織り交ぜながら、20周年を機にさらに錦と輝くアピカホールの明日を描き出したいと思っています。

西脇市立音楽ホール  
「アピカホール」館長 吉田明生



(スケッチ 上角 和夫)

# コンサートのご案内

## 第130回しばざくらコンサート関連事業

### 「竹楽器製作ワークショップ」

申込締切日 7月6日(月) (先着60名)

と き 7月18日(土) 午前10時～  
参加料 一般 2,300円 中学生以下 1,300円  
(19日コンサート入場料・ワークショップ受講料・昼食代・材料費・保険料含む)  
会 場 西脇市立青年の家 体育室  
☆スケジュール☆  
18日 10:00竹楽器製作 → 12:00昼食 → 楽器練習(1時間程度)  
19日 午前 リハーサル → 午後 コンサート出演



フィリピンの民族楽器  
バリピンを作ります♪



夏休みの工作や  
自由研究に♪



親子で一緒に  
翌日コンサートに出演♪

## 第130回しばざくらコンサート

### 「ワールド・バンブー・オーケストラ」

と き 7月19日(日)  
午後1時30分時開演(午後1時開場)  
入場料 一般 1,500円 中学生以下 500円  
<全席自由>  
\*0歳より入場可(3歳以下ひざ上鑑賞に限り無料)  
\*3歳以下であっても、座席が必要な場合は有料  
会 場 西脇市立音楽ホール「アピカホール」



東京楽竹団と和楽器オーケストラあいおいのコラボレーション!



## 音楽の名著紹介シリーズ(第2回)

### 許 光俊『オレのクラシック』(青弓社)

現代日本の音楽評論の世界には、中堅どころに、傑出した人材が二人存在します。

1962年生まれの福島章恭さんと1965年生まれの許 光俊さんです。

今回は、許 光俊さんの著書を取り上げますが、福島章恭さんの本もいずれご紹介したいと思っています。

許 光俊さんは、慶應義塾大学文学部の哲学科美学美術史専攻で音楽学を学んだあと、東京都立大学(現・首都大学東京)の大学院に移り、ドイツ文学を専攻されました。現在は慶應義塾大学法学部教授の職にあります。

許さんには、一般読者向けに書かれたクラシック音楽関係の本が何冊かあるのですが(『世界最高のクラシック』、『生きていくためのクラシック』、『世界最高のピアニスト』など、いずれも光文社新書)、今回は、敢えて、そのようなお行儀のよい本ではなくて、ぶっちゃけ本音トーク集といってもよいような過激な本を取り上げることにしました。

表現が過激なため、穏やかで常識的な人が読めば、たじろぐようなところがあるかもしれませんが、しかし、菌に衣を着せぬ物言いで、一見、過激のようにみえますが、私には、許さんの言っていることは至極まっとうで物事の核心を突いているように思えます。共感できる場所が多々あるため、多くの人に目を通していただきたいと思った次第です。

ただ、そうはいっても、この本は読む人を選ぶところがあります。だれにでもスナリと受け入れられるとは言い難いところがあるからです。「良薬口に苦し」ということわざがありますが、この本はまさにそのたとえの通り、クラシック音楽界の現状に対する痛烈な批判が込められています。耳に心地の良い文章ばかりではないのです。

この本を手取るのを避けた方が賢明だと思える人。

それは、クラシック音楽の現状に満足していて、なんら不満を感じていない人だと言えるでしょう。わざわざ寝た子を起こす必要ありませんし、読んでみても著者が何を言いたいのかピンとこない可能性があります。

その反対に、現在のクラシック音楽の世界に危機感や疑問を感じている問題意識の強い人にとっては、啓発されるところが多々あることでしょう。

この本は、大きく2つの部分から成っています。

第2章〈オレのCD〉は、CD販売店HMVのホームページに掲載されたCD批評で、著者が気に入ったCDのみが取り上げられています。

著者が高く評価している指揮者たち、スヴェトラーノフ、ムラヴィンスキー、ケーゲル、テンシュテット、チェリビダッケといった人

たちのCDが主に取り上げられていて、批評も熱がこもっていて説得力があります。

私自身は、第2章もさることながら第1章〈オレのクラシック〉に強く惹きつけられ、また、強い衝撃をうけました。現代のクラシック音楽の世界が抱えている問題点がズバリと指摘されていたからです。

面白そうなところをいくつかピックアップしてご紹介してみましょう。

「しかしだ。これだけこき下ろしておいて、矛盾するかのようにとられるのは困るが、オレは佐渡的なショーマンがクラシック音楽界にいるのも仕方がないと思ってもいる。どうせ、すべての人が音楽をよく理解できるわけではないのだ。素晴らしい演奏でも寝入ってしまう人だって少なくなろう。そんな人たちが、派手な動きで指揮台狭しと暴れ回る佐渡のような指揮者を大歓迎するのは無理もない。また、そういった人たちがコンサートに来たりCDを買ってくれなければ、音楽界は立ち行かないのだ。ひとときスカッとさせてくれれば十分、そう考える人がいま世の中では大多数であるかもしれないし。」

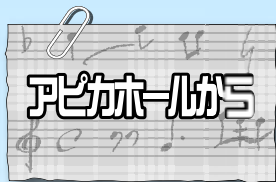
「また、ときたま、信じ難くひどい演奏家でも、聴衆が大喜びする場合があります。そんな様子を見ていると、オレがどんなことを書いてもムダだなど思ってしまう。(中略) もっとも、こんなことは音楽に限ったことでなく、みながみなきちんと質の高低がわかるようになったら、まずい飲食店はつぶれ、

つまらない本は売れず、くだらないテレビは誰も見ず・・・という具合で、たいがいの人間は失職してしまうだろう。」

「おそらく、日本的クラシック演奏を突き詰めていけば、トヨタのようになるはずだ。個性は希薄。でも、優秀な生産システムによって品質のいい演奏家がたくさん生まれる。(中略) だが、味わいとか美とか趣味性といった、数値化できない、実用性を超えた何かを求める人が決して日本のスポーツカーに満足しないように、本当に芸術らしい芸術を求める人が、そうした演奏家に心奪われることは絶対にあるまい。」

私などはいたって気の弱い人間であるため、内輪では鼻息の荒いことを言っている、公の場でこれほどまでにズバズバともの言う勇氣は持ち合わせていません。結果的に大勢の人たちを敵に回すことになるであろうことを覚悟の上で堂々と自論を展開された許 光俊さんに大いなる敬意を表したいと思います。この本を読んだ人がどのような反応を示すかで、その人のクラシック音楽に対する接し方——真剣に接しているのか、それとも軽い気持ちで接しているのか——が浮き彫りになってくるように思えます。その意味では、この本は、その人の真剣度を計るいわばリトマス試験紙のような本だといえるのではないのでしょうか。

元同志社大学文学部講師(音楽学) 鶴川 真



## 初心者ヴァイオリン教室を開校

平成27年6月20日(土)アピカ弦楽アンサンブル教室・初心者ヴァイオリン教室の開校式を行いました。7月から本格レッスンが始まります。興味のある方は見学できますので、お気軽にお尋ねください。

### 初心者ヴァイオリン教室第2次募集のご案内

<対象>北播磨地域(西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町)在住で、ヴァイオリンに興味のある小学1年生~中学3年生

<と き>土曜日/月3回程度(時間は募集締め切り後、決定します。)

<内 容>

♪ヴァイオリンのグループレッスン

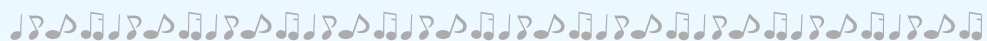
♪年に一度、Apika Junior Strings(アピカ弦楽アンサンブル教室)とコンサートを開催します。

<参加料>5,000円/月(教材費は別途必用)

<申込み>

申込書に必要事項をご記入の上、アピカホールまでお申込みください。(FAX可)

(申込書はアピカHPでもダウンロードが出来ます。)



## アピカ・ジュニア・ストリングス「第3回コンサート」平成27年3月29日

Apika Junior Strings(アピカ弦楽アンサンブル教室)「第3回コンサート」を開催しました。

結成3年を迎え教室生は驚くほど成長しています。お客様から「子どもの演奏とは思えないほど上手で素敵」「すごく良かった、来年も聴きにきます」と、おほめの言葉をたくさんいただき素晴らしいコンサートとなりました。



総合建設業 一級建築士事務所  
国土交通大臣認定鋼構造物製作工場  
あんしん住宅瑕疵保険届出事業者



WAIKI CONSTRUCTION CO.,LTD.



☎677-0018 西脇市富田町36  
電話 0795-22-5651(代)

今までなかった。  
DISTYLEのカジュアルオーダーメイド。  
あなた仕様のキッチンと収納家具でお部屋を  
デコレーション。

D-STYLE Kitchen&Furniture

株式会社 藤田幸三商店 神戸市東灘区向洋町中6-9 4F  
TEL:078-857-8424 FAX:078-857-8425

## 8月の催し

### 8月22日(土) 第19回「リトルピアニストの大っきなコンサート」

アピカホールのスタインウェイピアノを広く皆さんに弾いていただきたい。

ホールのこの想いから始まったコンサートも、今回で第19回目の開催になります。演奏するだけでなく、他の出演者の演奏を聴くマナーも身につけることも大きな狙いとして開催をしています。

今、60組63名のリトルピアニスト達が夏休みの大っきなコンサートに向けて、一生懸命練習に励んでいます。ぜひ、アピカホールで夢いっぱいリトルピアニスト達の演奏をお聴きください。

### 8月27日(木) ヴァイオリン ワークショップ

今年で3回目となる「ヴァイオリン・ワークショップ」を開催します。

楽譜が読めなくても、楽器をもっていなくても、ヴァイオリンに興味があれば誰でも参加できます。

本物の楽器に触れ、音に触れ、毎年たくさんの子供たち(北播磨地域在住の小学1年生~中学3年生 30名程度)が参加しています。

指導者は、アピカ・ジュニア・ストリングス講師の藤井允人先生、西山枝里先生、久保ふみ先生です。

8月4日(火)までに、申込書(HPからダウンロード可能)を提出してください。



会議・セミナー・展示会・パーティ・同窓会 承ります

## 西脇ロイヤルホテル



☎677-0015 西脇市西脇 991  
TEL.0795-23-2000 FAX.0795-23-8604

詳しくはオフィシャルホームページで  
▶▶▶ <http://www.nishiwaki-royalhotel.jp> 西脇ロイヤルホテル 検索



## 音楽の 話・輪・和・Wa

### 「生きる糧を 与えてくれる」

來住 壽一

アピカ音楽ホールは、来年20周年を迎える。思い返せば、平成2年3月31日の朝、最終列車が西脇駅を離れた。鍛冶屋線の廃線だった。翌年8月駅前再開発が始まり、僅か5年で現在の町並みが出来あがった。再開発に当たって要望の強かったのが、ホテルとクラシック専用のコンサートホールの設置だった。平成元年の夏、休暇を利用して東北旅行に出か

けた。目的は、宮城県中新田町(当時)にあるバツハホールの視察だった。田んぼの中にポツンと建つバツハホールは、地方から文化発信をする象徴的な存在で、音楽家が選ぶ優良ホールであった。設備、残響時間など完璧なホール、町民あげて運営に関わっていたのが印象に残っている。西脇にもこんなホールが欲しい視察者全員がそう思ったに違いない。西脇に音楽ホールを作ることに、大変参考になった。

アピカホールは、多くの人々によって運営され、聴く人と奏でる人がともに音楽を作り上げること。アピカを訪れた音楽家からは、非常に音響の良いホールだ…と言ってもらえるのは、実に嬉しい。音楽は、聴く人に、生きる糧を与えてくれる。近年、合唱教室やバイオリン教室も開催している。「すべての人はバツハを目指してきた」とのシュバイツァー博士の言葉のように、聴く人も奏でる人もアピカを舞台にして人生の喜びを享受できればと願う。そんな音楽ホールとして活動を続けてほしい。

(西脇市在住)

### 編集後記

好きな音楽は心に響き、元気になれる素と実感されている方も多いと思います。聞き覚えのあるメロディーを耳にしたとき、ふと当時の頃の思い出がよみがえってきたことはありませんか。

好きな音楽が心に与える影響は大きいと感じます。大好きだった曲を聴くと、歌詞だけでなく、そのときの感情や経験も思い出されてくるのが不思議ですね。

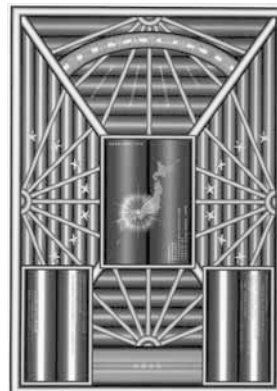
アピカホールで本年度もリラックスして前向きになれる自分のお気に入りのジャンルを見つけて音楽を楽しみましょう。(Green)

アートの手

「中山明日香一庭先絵画360°」展  
～7月20日(月・祝)

「サムホールコレクション1995-2014」展  
8月1日(土)～10月12日(月・祝)

2年に一度の「全国公募西脇市サムホール大賞展」歴代受賞作品と、横尾忠則デザインのポスター等を展示し、20年間の軌跡をとおして、その意義を改めて検証します。



第1回展ポスター 横尾忠則デザイン

開館時間 午前10時～午後5時(入館午後4時30分まで)  
入館料 大人310円(260円)高・大学生210円(160円)  
小・中学生110円(80円)(20名以上団体割引料金)  
※ココロカード可  
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)・祝日の翌日※8月全て開館

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/>  
ホームページにも掲載していますので是非ご覧ください。  
ブログ「美術館日記」もご訪問ください。

西脇市  
岡之山美術館  
TEL.0795-23-6223

## アトリエシリーズ

◎「アトリエ個展シリーズ」

VOL.4 ●ハダ タカヒト 展  
～7/5(日)

◎岡之山「人物クロッキー」展

7/7(火)～20(月・祝)

◎「1995-2014 全国公募西脇市

サムホール大賞軌跡」展

VOL.1 8/1(土)～23(日)

VOL.2 8/24(月)～9/13(日)

VOL.3 9/15(火)～10/4(日)

※アトリエシリーズは入館無料

西脇市制10周年・西脇市民会館開館50周年記念  
きて☆みて☆きいて!

## 第17回「あなたが主役フェスティバル」

とき 7月12日(日) 9:30～16:00

ところ 市民会館 全館

内容 ステージ発表、NSKのど自慢、手づくり趣味の市、100金遊び市(金魚すくい、ヨーヨーつり、射的ゲームほか)

西脇市制10周年・西脇市民会館開館50周年記念

## 富良野塾OBユニット公演「シコバラ」

とき 10月31日(土) 18:30開演

ところ 市民会館 大ホール

入場料等調整中!  
お楽しみに!

※ホームページにも掲載していますので是非ご覧ください。  
<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/shiminkaikan/> E-mail: shiminkaikan@ever.ocn.ne.jp

アピカホール

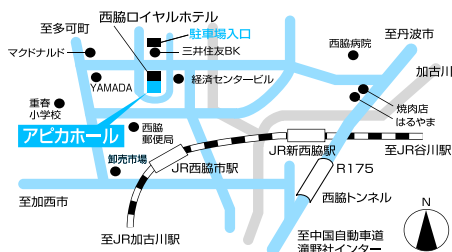
# 催しガイド

7月～10月

休館日：毎週水曜日(祝日の場合翌日)

月/日(曜日)	催物内容	時間	入場料等	主催・問合せ	特集記事
7/12(日)	西脇市制10周年・西脇市民会館開館50周年記念 きて☆みて☆きいて! 第17回「あなたが主役フェスティバル」	会場：西脇市民会館 9：30～16：00	大・中ホール 無料 その他 有料	市民企画委員会 <sup>ゼロ</sup> 西脇市民会館 ☎0795-22-5715	P11
7/18(土)	第130回 しばざくらコンサート関連事業 竹楽器製作ワークショップ	10：00～	一般 2,300円 中学生以下 1,300円 (18日コンサート入場料を含む)	会場：青年の家 アピカホール ☎0795-23-9000	P5
7/19(日)	第130回 しばざくらコンサート 「ワールド・バンブー・オーケストラ」	13：30～ (13：00開場)	一般 1,500円 中学生以下 500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P5
8/2(日)	ふるさとゆかりの演奏家 生田敦子 ピアノコンサート	15：00～	一般 1,000円 中学生以下 500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P2
8/22(土)	第19回 「リトルピアニストの大っきなコンサート」	午前の部 10:00～ 午後の部 14:00～ (予定)	無 料	アピカホール ☎0795-23-9000	P9
9/5(土)	作曲家 弦哲也の世界をアピカホールで ～我、未だ旅の途中～	15：00～ (14：30開場)	大人 4,000円 子供 2,000円 (当日券500円増)	にしわかふるさと芸術村 ☎090-3972-8010 ☎090-3050-5484	
9/12(土)	「高齢者の生活と暮らし方」	13：00～	無 料	織錦在郷倶楽部 ☎0795-24-0177	
10/31(土)	西脇市制10周年・西脇市民会館開館50周年記念 富良野塾OBユニット公演「シコバラ」	会場：西脇市民会館 18：30開演	入場料：未定 チケット販売開始 2015年8月8日(土)	市民企画委員会 <sup>ゼロ</sup> 西脇市民会館 ☎0795-22-5715	P11

★主催者の都合により変更になる場合があります。内容についてのご質問は、各主催者までお問い合わせください。



## 交通アクセス

<バス>中国ハイウェイバス西脇営業所行き  
「西脇」下車すぐ。

三ノ宮～西脇線(神姫)「西脇」下車すぐ。

<鉄道>JR加古川線「西脇市駅」より徒歩約20分。

<車>中国自動車道 滝野社ICより国道175号線  
を北へ約15分。

※アピカホール主催の有料公演のみ、アピカ地下  
駐車場 3時間無料サービスの手続きをします。

■編集：ポナンタゴン編集委員会  
■発行：西脇市立音楽ホール「アピカホール」  
ポナンタゴン：こんにはは  
(エスベラント語)

〒677-0015 兵庫県西脇市西脇991  
TEL(0795)23-9000 FAX(0795)23-9031  
http://www.nishiwaki-cs.or.jp/apikahall/  
E-mail: apikahall@ever.ocn.ne.jp

このガイドは2015年6月1日現在の資料を元に編集しており、内容は変更される場合があります。無断での転載を禁じます。